

高 新 Shinsho 翔

生徒会役員にインタビュー

5月6日(木)

先日生徒総会が開かれ、改選された生徒会執行部の皆さん、会長 引地健太君、副会長 西地亮君、川村裕彰君(いずれも3年)に、編集室からインタビューしてみました。(編集室)まず、選挙公約で、「みんなが明るく過ごせるような学校にしたい」とい



ていましたが、具体的にどうしていきたいですか。(西地)体育祭の応援練習のような、学年の枠を超えて協同で何かするような機会が増やせればよいと思います。

(川村)そうです。3年生が1年生の先生になるような機会が欲しいです。(編)「きれいな学校づくり」という公約もあったようですが、そのことについての具体策は?(引地)階段や廊下にゴミが多いのは、捨てるのが面倒だからだと思います。ゴミ箱の数をもっと増やしたらどうでしょうか。(川村)先生方が休み時間の巡視をされていますが、美化委員を中心に、生徒も巡視をしたら、みんなの意識も変わるのではないのでしょうか。(引地)学校の外にもゴミが多いと思います。地域清掃の回数をもっと増やしたいと思います。(編)引地君の公約に、「クラスマッチの改革ということがあったようですが。(引地)サッカーが苦手な人もいるので、男子の種目にバスケットボールを取り入れたいと思います。(編)その他、在任中にやってみたいことは何かありますか。

(引地)服装の乱れている人がまだいるので、生徒会から呼びかけてきちんとしたいです。男子はシャツをちゃんとズボンに入れること、女子のスカートの丈ぐらいいきちんとして欲しいですね。(西地)あまり活動できていない委員会もあるので、委員会活動を活発にしたいですね。(編)ありがとう。がんばってください。

二年生遠足

4月23日(金)

「遠足を含む野外活動」として、二学年は遠足を兼ねて全クラスで、バーベキューと熊野川川原の清掃活動を行うことになった。新宮駅前集合したあと、クラス単位で隊列を組んで、徒歩で西村記念館前、丹鶴城趾前を通過して速玉大社へと向かった。川原につく頃から、あいにく小雨が降り始め、傘をさしながらバーベキュー班に別れ、準備を始めた。思うように炭に火がつかず苦戦する班もあったが、大変だった反面協力も進み、みんなの「和」も生まれ、楽しい思い出を作ることができた。最後に、ひとつのゴミも残さないことを互いに確認し、全員で川原のゴミ拾いを行った。全体としてマナーもよく、無事に行事を終えることができた。



熊野古道をもっと知るために

5月12日(水)

外部講師を招いての授業があった。「観光業務」を選択している3年生20名が対象で、この科目では“観光プラン”作成という取り組みがあり、そのための事前学習として行われたものである。和歌山県世界遺産センターの日下明典先生が「世界遺産概論～熊野古道の真実～」というテーマで講義。「世界遺産とは」から始まり、紀伊山地の霊場と参詣道について特徴、文化的景観、信仰など、わかりやすい話だった。そのあと、今回のメインである熊野古道についての話が続いた。授業の冒頭、世界の人々がみんな大切に守り、後世に伝えていくものが世界遺産であり、その有効活用の一つに「観光」があるということ力を説き、これと関連づけて、古より熊野は男女の区別なく、ハンディキャップのあるなしに関係なく、誰でも受け入れてきた歴史があるが、この考え方が「おもてなし=ホスピタリティ」に通じるのではないかと結んだ。

6月トピックス

4日(金)～6日(日)…高校総体
20日(日)…全商珠算・電卓検定

11日(金)～16日(水)…保護者面談
24日(木)…期末考査時間割発表

17日(木)…服装・頭髪点検
27日(日)…全商簿記実務検定